

〈解釈〉

ピーターは、高いつみ木のビルを完成させてもだれにも見てもらえず、「ガシャン」とつみ木がくずれた大きな音がしても、様子を見に来てはもらえない。お母さんは心配するどころか「しいいっ。」とスージーのことを優先している。返事すらしないピーターに、お母さんはどう思うだろうかと、スージーの部屋を「そっと」のぞいてみたが、お母さんは気にもせずスージーのお世話に大忙し。さらに、自分が使っていたゆりかごがスージー用にピンクにぬられてしまっているのを発見する。「お母さんはスージーのことばかり…」とと思っているところに、お父さんまでもピーターが使っていた家具を「ぬるのてつだってくれんかなあ。」とスージーのために動いている。お父さんもお母さんもスージーのことしか考えていないと思ったピーターは、偶然まだぬられていないいすを見つけ、ピンクにぬられたくないという思いを「あれは、まだ、ぬってないぞ。」と大声をあげることでアピールした。ピーターは、ひとまずそのいすを自分の部屋へ持っていき、お母さんに自分のことを見てもらうために、家出することを決めた。置いていったら、スージーの物に変わってしまいそうなおもちゃのわにと、赤ちゃんの時の写真も一緒に持って行った。

ピーターは、お母さんに声をかけてもらえそうな家の前に立ち、「ここがいいや」と、しばらくいすにすわっていることにしたのだが、すわろうとして初めて、おしりすら入らないほど自分の体が成長していたことに気づく。自分の体の成長に驚き、自分の行動の幼さに気づいたピーターは、今までの自分とはちがうことをしようと「いいこと」を考える。まずは、「うちにかえっといで」「すてきなごちそうですよ」というお母さんの声かけに返事をせず、すぐには家にもどらないことにした。次に、いつもの「カーテンにかくれる」という方法から、靴だけをカーテンに置き、お母さんを驚かせることにした。そして、最後に「あれは、まだぬってないぞ。」と大声をあげたピーターが、「あのちっちゃないす、スージーのためにピンクにぬろうよ。」と提案することで、お父さんを驚かせた。⑮の後で、「ピンクにぬろうよ」と言わなかったのは、自分の行動をふり返り、「いいこと」を考えていたからだと考える。

〈展開案〉

1. ピーターの「変だ、おかしい」を探し、問題を作る。
2. 大問題を選ぶ。
⇒②①ピーターが「スージーのためにピンクにぬろうよ」と言った原因は何か。
3. 大問題の「変だ、おかしい」をふくらませる。

②①が、ピーターの大変化だとどこで分かる？

- ⑥ぬっちゃった〈てしまう〉…何かが実現し、それを元に戻すことができなくなる。(多く好ましくない状態)
- ⑧「あれは、まだぬってないぞ。」⇔「あのちっちゃないす」
- ⑧ピーターは大声をあげた。〈声をあげる〉…声を出して主張すること。
- ⑨ピーターは、そのいすを持ち上げると、じぶんのへやへかけてった。

➡いすをピンクにぬられてしまうことを拒み、父に対して「いすをぬられたくない」ことをアピールしていたピーターが、自分から「スージーのためにピンクにぬろうよ」と父に提案するのは大変化である。

ピーターが変化する原因になった段落はどこ？

- A : ⑭⑮ 大きくなりすぎていたことに気が付いたから。→○
- B : ⑰ いいことを考えたから。→×

いいことを考える原因になった段落はどこ？

- A : ⑭⑮ 大きくなりすぎていたことに気が付いたから。→○
- B : ⑰ お母さんに声をかけられたから。→×
- お母さんの声かけに「聞こえないふり」をしている。「聞こえないふり」をしているときに「いいこと」はもう考え終わっている。

「大きくなりすぎていた」ことに気が付いたことで、「スージーのためにピンクにぬろう」と言うピーターに変化した原因は何か。

- A : いすがいらなくなったから。
- B : 自分の今までの行動を振り返ったから。

「大きくなりすぎていた」と「大きくなっていた」のちがいは？

「～すぎる」という言葉を使って例文づくりをし、「～すぎる」という言葉には、必要以上に度を越すといったマイナスな意味もあることを捉えさせる。